

げっかん

ほんはともだち



2025ねん 7がつごう (no. 273) **やすとしょかん**

ほんかん	10:00~18:00 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-586-0218 ファックス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-589-3382
ホームページ	https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/	



こどもむけイベントのおしらせ

★おはなしの森

7月6日, 13日, 20日, 27日 (日)

場所: おはなしコーナー 10時30分~

絵本やかみしばいをよみます(3歳~)

★ちっちゃなおはなしの森

7月10日 (木) 11時~

場所: おはなしコーナー

赤ちゃんから楽しめるおはなし会です

★ちっちゃなおはなしの森 in 中主

7月24日 (木) 11時~

場所: 中主分館

赤ちゃんから楽しめるおはなし会です

7月のとしょかんカレンダー ※の日はやすみ

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6 おはなしの森	7	8	9	10 ちっちゃなおはなしの森	11	12
13 おはなしの森	14	15	16	17	18	19
20 おはなしの森	21	22	23	24 ちっちゃなおはなしの森 in 中主	25	26 化石とあそぼう
27 おはなしの森	28	29	30	31		

もうしこみせい
申込制です

★化石とあそぼう☆13

7月26日 (土) 13時15分~

『恐竜とアンモナイトの謎』

場所: 図書館ホール

『アヒルかも! ウサギかも!』

エイミー・クラウド・ローゼンタール&

トム・リヒテンヘルド/さく

せきねみつひろ/やく

(光文社) E/7E

アヒルなの? ウサギなの? それともべつのなにかなの? あなたはどっちにみえる? じぶんのめだしかめてみて!



『小さな犬と緑の庭で』

K913/利

堀直子/作 かわいみな/絵 (あかね書房)

心葉がひっこし先の家に行くと、庭にいた小さな白い犬にほえられた。そして、一葉という女の子まであらわれて「ここはハルとたくちゃんのうち」といつてきた。いったい、どう



あたらしくはいったほん

『ミクとオレらの秘密基地』

K913/マ

真栄田ウメ/作 (岩崎書店)

オレたちの小学校に転校生がやってきた。それが、だれがなにをいっても「笑わない女」らしい。そこでオレと友だちの芝やんで、その女子をどうにかして笑かしてやろうとするのだが...



『どうやってできたの? 日本の変な地形』

K454

松本穂高/監修 (かもがわ出版)

間欠泉や鍾乳洞など、日本にある自然の中で美しくも「変」な地形に注目して、どうやってできていったのかをわかりやすくしょうかいしています。さあ、日本の美しい地形の魅力を感じてみましょう!



★ほかにもあるよ! 「あたらしくはいったほん」のたなをみてみてね。よやくもできます。

『ソフィー・スコットの南極日記』

アリソン・レスター/作 斎藤倫子/訳 (小峰書店) K402

船長さんのパパと一緒に南極へいくことになったソフィー。たくさん氷山にびっくりしたり、ペンギンやアザラシとであったり、オーロラを見たり…。わくわく、どきどきの毎日を描いたはじめての南極旅行日記。



『はれときどきぶた』

矢玉四郎/作・絵 (岩崎書店) K913/79

ぼくは、島山則安。ぼくのじまは、日記をつけていることだ。でもこんどから“あしたの日記”を書くことにした。だって、母さんがこっそり見てるらしいんだ。だから、うんとメチャクチャなこと書いて、母さんをびっくりさせるんだ。



『おさるの日記』

和田誠/文 村上康成/絵 (偕成社) K913/79

おとうさんがかえてきたので横浜までむかえにいった。おとうさんはおみやげをぼくにくれた。おさるをくれた。まだちいさいおさるだ。おさるはとてもかわいかった。けれど、おさるのもんきちは、だんだん人間のこどもみたいになってきて…！？



『マッチ箱日記』

ポール・フライシュマン/文 バグラム・イバトゥーリン/絵 島式子/訳 島玲子/訳 (BL出版) E/マツ

小さいころ、読むことも書くこともできなかったひいじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、お母さんは、マッチ箱にその日の思い出を残していった。マッチ箱日記をひもときながら、ひいじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、お母さんがひ孫に人生を語ります。



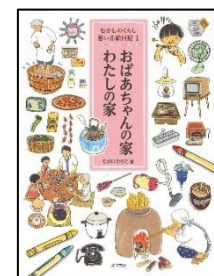
日記をつけよう！

絵日記、旅日記、観察日記、交換日記…
日記も いろいろ たのしいな

『おばあちゃんの家わたしの家』

むかしのくらし思い出絵日記 1 ☆シリーズあり
たかいひろこ/著 (ポプラ社) K382

作者のたかいさんが、むかしのくらしを思い出しながら絵にした本。電気も水道もない家でくらしていた昭和初期のおばあちゃんの家のかたと、たかいさん自身が子どものころすんでいた家のくらしをしようかいする。



『一年一組せんせいあのね』

鹿島和夫/選 ヨシタケシンスケ/絵 (理論社) K911/79

「1 にち 24 じかん みじかすぎるだれがきめたんや」—担任の先生と小学一年生たちとの、いわば交換日記であったくあのね帳からうまれた本。54人の子どものたちの詩をヨシタケシンスケの絵とともにしようかいします。



『ブルムカの日記』

イヴォナ・フミエレフスカ/作 田村和子/訳 松方路子/訳 (石風社) K289/コル

ブルムカが住んでいた孤児院には、ユニークな子どもたちがたくさんいました。そんな子どもたちとコルチャック先生の日常を描いた日記。孤児院での生活やコルチャック先生の教えが伝わります。



『グレッグのダメ日記』 ☆シリーズあり

ジェフ・キニー/作 中井はるの/訳 (ポプラ社) K933/キ

これを書くことにしたわけは、ただひとつ。ボクがしょうらい、金もちの有名な人になったとき、1日中ばかばかしいしつものに答えるのが、めんどうだからだ。そういう場合、これをだせば、いっぱつでかいけつするからね。グレッグ少年のおかしな日記。

